

交通バリアフリーニュース

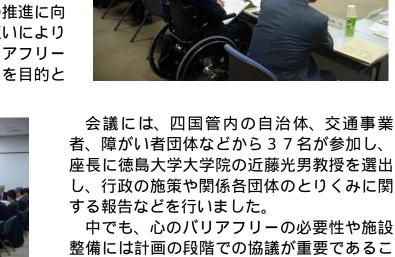




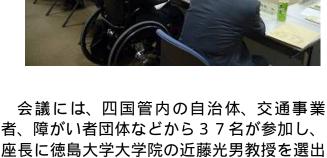
第1回「バリアフリー推進四国地域連絡会議」 を開催しました

四国運輸局と四国地方整備局は、平成20 年3月27日(木)、サンポートホール高松 において、「第1回バリアフリー推進四国地 域連絡会議」を開催しました。

この会議は、関係する施設設置管理者、当 事者団体、有識者、行政等が一堂に介し、現 状把握、課題の抽出、取組みの先進事例、対 応法策の検討などバリアフリー化の推進に向 けた知見の共有を図るとともに、互いにより よい協力関係を築き、連携してバリアフリー 化のいっそうの推進に寄与することを目的と しています。







中でも、心のバリアフリーの必要性や施設 整備には計画の段階での協議が重要であるこ となどについて意見が出されました。

今後、関係者が連携してバリアフリー化の 推進を図っていくことが確認されました。

第1回バリアフリー推進四国地域連絡会議 参加団体

- ・(財)香川県老人クラブ連合会
- ・(財)香川県視覚障害者福祉協議会
- ・(社)全国脊髄損傷者連合会香川県支部
- ·(財)香川県身体障害者協会
- ・手をつなぐ育成会四国連絡協議会
- ・(社)日本自閉症協会

- ・四国旅客鉄道(株)
- ・四国鉄道協会
- ・四国旅客船協会
- ・四国バス協会
- ・四国ハイタク協議会
- •香川県
- ・徳島県
- ・愛媛県
- ・高知県
- ・高松市

第11号(平成20年3月31日発行) Page 2

第1回全国バリアフリーネットワーク会議が開催されました

3月10日国土交通省において、施設設置管理者、当事者団体、有識者、行政等が参加し、それぞれの取組みへの理解を深め、バリアフリーの現状や課題を共有するとともに、意見交換などをつうじて協力関係の構築、連携の強化を目的として第1回全国バリアフリーネットワーク会議が開催されました。

各団体からは、「心のバリアフリー」のいっそうの推進やバリアフリー新法で創設された基本構想提案制度の活用、施設整備の取組みなどが報告されました。



国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰が行われました



3月10日国土交通省において、第1回国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰式典が行われ、冬柴国土交通大臣から表彰状が授与されました。

表彰された方々は以下の通りです。

1 さいたま新都心バリアフリーまちづくりボランティア

さいたま新都心において、まちの案内、障がい者の移動支援など を継続的に実施している。

2 NPO伊勢志摩バリアフリーツアーセンター

障がい者を含む地域住民が中心となり、日本初のバリアフリー観光の 案内システムを行う「バリアフリーツアーセンター」を平成14年に開 設、運営している。



3 豊中市

市内13駅すべてについて、基本構想を 策定し、駅と駅周辺のバリアフリー化に取組んでいる。「バリアフ リー推進協議会」を設置し、バリアフリー新法の制定に先立ち「ス パイラルアップ」を実現させるための体制を構築している。

4 廿日市市

広島電鉄平良駅及びその周辺について、交通 結節点の機能強化を図り、鉄道駅とバス停の 一帯整備などによるバリアフリー化を図った。

5 宮崎市

民間建築物のバリアフリー化を強力に進めている

ホームページを活用した建築物のバリアフリー 状況の積極的な情報提供、「観光バリアフリー」 実現のための活動の実施などを行っている。



新しいJR高知駅が開業しました

平成20年2月26日(火) JR高知駅が JR土讃線の連続立体交差(鉄道高架)事業に 伴い高架化され、新しい駅として開業しまし た。

新駅舎には、駅前広場とプラットホームを すっぽりと覆うアーチ形の大屋根(くじらドーム)が設置されたり、四国で初めてとなる自動 改札機及び指定券券売機が導入されています。

今後、今までは駅裏だった北側の駅前広場には、新しいバスターミナルの設置や、4車線道路が整備される予定です。



自動改札機



多機能トイレ



ホーム



東側から見た高知駅

新しい高知駅は、エレベーターやエスカレーター、 視覚障害者誘導用ブロック、多機能トイレなど移動等 円滑化(バリアフリー)基準に適合した設備が整備さ れ、利用者にとってより使いやすい優しい駅となりま した。

今回の高架化にあわせて、入明駅、円行寺口駅の2駅も高架駅となり、高知市によりエレベーターが設置されています。

また、この高架化により、11ヶ所の踏切が撤去され、高知市内の南北の交通渋滞が緩和されることになります。



エスカレーター乗降口



転落防止柵



エレベーター



入明駅:エレベーター

各県で交通アドバイザー会議が開催されました

国土交通省では、公共交通機関の利用者利便向上等を図るためのモニタリング制度として、平成4年度に「交通アドバイザー制度」を創設しています。

この制度に基づき、四国運輸局の管内各県ごとに、当該地域での公共交通機関利用者各層から、職業、性別等を幅広く考慮して、交通アドバイザーを委託しています。

管内の運輸支局では原則として年一回「交通アドバイザー会議」を開催することとなっており、会議では交通アドバイザーの方から、公共交通機関が提供するサービス等の改善に資する意見や国土交通省の公共交通施策全般に対するご意見をいただいています。

平成19年度 四国管内 交通アドバイザー会議開催状況

- ・「愛媛運輸支局交通アドバイザー会議」・・・平成19年11月29日(木)於:宇和島市
- ・「香川運輸支局交通アドバイザー会議」・・・平成19年12月20日(木)於:高松市
- ・「徳島運輸支局交通アドバイザー会議」・・・平成20年 1月22日(火)於:徳島市
- ・「高知運輸支局交通アドバイザー会議」・・・平成20年 2月29日(金)於:高知市

~ 会議の概要~

愛媛運輸支局交通アドバイザー会議



会議の様子(愛媛)

平成19年11月29日(木)に宇和島市において、愛媛運輸支局主催で開催された会議では、 寺谷亮司 愛媛大学教授を座長に迎え、8名の アドバイザーの方々にご出席いただき、公共交 通に関するご提言をいただきました。

初の南予開催となった本会議では、「山間地が多い」「少子高齢化が特に深刻」といった地域特性をふまえつつ、最終的な市民の足となるバス生活路線の存続についての議論や、子育てタクシーの導入促進、また高齢者の交通事故防止対策等様々な意見提言がなされました。

香川運輸支局交通アドバイザー会議

平成19年12月20日(木)に高松市において、香川運輸支局主催で開催された会議では、6名のアドバイザーの方々にご出席いただき、公共交通に関するご提言をいただきました。

昨年に引き続き「バス利用促進対策」をテーマに、行われた本会議では、ICカードの導入・利用促進に対する意見・要望や、新バス路線計画にあたっては実証実験の検討、また長期的な都市計画を見越しての路線を検討すべきである等、様々な意見が出されました。



会議の様子(香川)

徳島運輸支局交通アドバイザー会議



会議の様子(徳島)

平成20年1月22日(木)に徳島市において、 徳島運輸支局主催で開催された会議では、近藤 光男 徳島大学大学院 教授を座長に迎え、7名の アドバイザーの方々にご出席いただき、公共交通 に関するご提言をいただきました。

「ユニバーサルデザインを踏まえた公共交通機関をめざして」をメインテーマに、「自転車のマナー」について徳島駅前の放置自転車や走行マナーについての課題や、路線バス・高速バスともに乗り場が分かりにくい等とのご意見がありました。

高知運輸支局交通アドバイザー会議

平成20年2月29日(金)に高知市において、高知運輸支局主催で開催された会議では、岩田 裕 高知大学 名誉教授を座長に迎え、6名のアドバイザーの方々にご出席いただき、公共交通に関するご提言をいただきました。

「高知都市圏におけるICカード乗車券の導入計画」について議論が行われ、運賃の割引率についての質問や、ICカードの長期利用者限定の「プレミアム会員」制度の提案、また、「フィーダーバス」を実験的に取り入れてみてはどうか、との提言等がありました。



会議の様子(高知)

消費者行政インタビュー

四国運輸局では、消費者ニーズや消費者行政上の課題を把握 し、その結果を行政に役立てていくことを目的として公共交通 機関の利用者等を対象にインタビューを行っています。

今回は、高知市において幅広い市民活動を展開されている「NPO高知市民会議」理事 土居 貴之さんに、自身が主体となって参加されている「公共交通部会(現在は「交通まちづくり部会」に名称変更)」での活動等を中心に、様々なお話をお伺いしました。



NPO高知市民会議 「交通まちづくり部会」 (旧:公共交通部会) 理事 土居 貴之さん



事業内容等を紹介した各種パンフレット

「NPO高知市民会議」の概要を教えてください

高知市民会議は平成11年1月に設立された市民活動をサポートする中間支援組織です。「高知市市民活動サポートセンター」の管理と運営なども担っております。 活動内容は「まちづくり支援事業」から「企業・NPOパートナーシップ事業」また「会議室・器材の利用提供」にいたるまで様々で、行政から委託される事業もあれば自主事業もあり、私が所属している「公共交通部会(交通まちづくり部会)」もその活動(自主事業)の一つです。

「公共交通部会(交通まちづくり部会)」ではどのような活動をするのですか?

『環境にやさしい街づくり』、『人にやさしいまちづくり』、そして『賑やかで魅力あるまちづくり』のためには「公共交通の利用促進」が不可欠であるとの考えから、まずはどのようにして公共交通の利便性、必要性を認識し、理解してもらえるかを話し合い、普段公共交通機関を利用していない人達にとにかく公共の乗り物を体験してもらおうと、イベントを企画したのがはじまりです。今までに「よさこいぐるりんバス」を利用しての「まちのお宝発掘ラリー」や公共交通を利用しての「春の低山ハイキング」等、様々なイベントを開催しました。



イベントの活動風景

また、公共交通部会(交通まちづくり部会)単独でというわけではありませんが、運輸局事業の『交通エコロジー教室』に2カ年連続で携わらせていただきました。国と交通事業者、行政、そして私たちNPOの協働で取り組んだのですが、日頃私たちが「こんなことしてみたい・・・」と考えていたことを実現させることができ、さらにその成果として参加者(市民)からも一定の理解を得られた!・・・これはとてもやりがいのある取り組みであったと思います。



高知市は中心部にいるんな機能が集積しているいわゆる「コンパクトシティ」だと言われてきましたが、近年はまちの機能がどんどん郊外に流出しており、「コンパクトだったシティ」になってきたように思います。打開策を見い出そうにも、交通事業者、行政、市民、中心市街地が、その問題意識を根本から共有できていないように感じます。

特に公共交通事業者の皆さんは危機的な経営状況を打破するため、様々な努力をされているようですが、少ない乗客を複数の事業者と乗り物同士でとりあっているようでは、利用者が増えるどころかマイナス効果でしかありません。



ワークショップの様子

地域内の関係機関は会社の枠を超えて連携し、『電車 vs バス vs 鉄道 vs 自家用車』から、『公共交通システム(電車 + バス + 鉄道) vs 自家用車』へと転換していくべきだと思いますね。また、市街地へ人を呼び戻すには、中心市街地がこれまで以上に魅力を高めないといけませんが、郊外への集客施設の進出を行政が規制するぐらいの防御策をしないと、今後ますます問題が深刻になると思います。

しかし一番大切なのはやはり市民の意識改革だと思います。"安ければいい、便利であればいい"と自分の欲求だけを追求していては、いずれ大事なものを失う・・・そのことに気づいた上での行動が必要だと思います。自分たちの『まち』と『足』を守るために、自分たちも行動する。この意識が今後求められるはずです。

何か行政に対するご要望等はありますか?



イベントの活動風景

とにかく「一緒にやりたい」ということですね。変な言い方ですが、わたしたち(NPO)をうまく使って欲しいと思います。お互いの立場だからこそやれることがそれぞれにあるはずです。

あとは、いくら公共交通の利用促進といっても、どこまでいっても"まちづくり"の視点抜きには「絵に描いた餅」になってしまう。微妙な違いなんですが、「公共交通のための街づくり」でなく「高知のまちのための公共交通」というのを間違えてはいけないな、と自分自身最近よく感じます。移動手段としての公共交通がいかに整備されても、目的地としての中心市街地に魅力がなければ誰も乗りません。

高知市中心市街地の魅力がよみがえり、利用者のニーズを反映した利便性の高い公共交通網が整備されれば、放っておいても持続していく魅力あるまち " 高知 " が実現すると思います。

「NPO高知市民会議」のホームページはこちら

http://www.siminkaigi.com/

インタビュー実施日:H20.2.29(金) 聞き手:伊藤



1月23日(水)、ことでん瓦町駅(香川県高松市)において「バリアフリー教室」を開催しました。

教室には高松琴平電気鉄道(株)から乗務員等28名が参加。香川県聴覚障害者福祉センター職員による座学の後、瓦町駅ホームにおいて電車車両を用い、聴覚障がい者への接遇実技や車いす利用者の介助体験、アイマスクを着用しての視覚障がい者介助体験をそれぞれ実施しました。



聴覚障がい者に対する筆談実技の様子



車いす利用者介助体験の様子

参加者は、障がい者や高齢者の立場を実際に体験したことによって、接遇・介助の必要性をあらためて認識するとともに、専門家からの介助方法等を学習したことにより、障がい者や高齢者への接遇・介助方法を再確認し、今後もさらなる「心のバリアフリー」の推進と安全・快適な公共交通機関の提供に向け、誓いを新たにしたようです。

聞こえないってどんなこと!?~聴覚障がい者への理解のために~

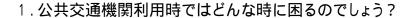
今回、ことでん瓦町駅で行われたバリアフリー教室では、聴覚障がい者に対する接遇についてのプログラムが初めて盛り込まれました。そこで、公共交通機関利用時の聴覚障がい者とのコミュニケーションにおけるポイントを解説します。

はじめに・・・

耳が聞こえないということは、コミュニケーションをとる段階になって、初めてその障がいに気が付くことが多く、外見上わかりにくいものです。

また、生まれたときから聞こえなかったり、病気やけがなどにより聞こえなくなったり、あるいは加齢により聞こえなくなったり、耳が聞こえないだけでなくしゃべることが出来ない「ろうあ」という障がいなど、その種類は様々です。特に乳幼児期に聞こえなくなると、言葉の取得が困難になるので、コミュニケーションが十分に行えない場合があります。

そうしたことから、聞こえなくなった年齢や、育ってきた環境によって、ことばの理解力や情報の取得量、知識の蓄積が異なり、コミュニケーションの方法についても個人差があります。



駅の案内放送、発車ベル、車内放送などが聞こえず、困難を感じています。特に事故や災害時の情報が分かりません。 列車の接近音、発車合図が聞こえず、危険な思いをすることがあります。



2.耳が聞こえない方とのコミュニケーションの方法とポイントは?

手話

手や指の動きや、身ぶりで言葉を表します。 ろうあ者の方の大多数は、手話で話し合っ ています。

筆 談

メモを書いてやりとりします。ろうあ者の方 の中には文章が苦手な人もいます。

伝えたいことは簡潔に。言い回しやあいまいな表現、二重否定は混乱を招きます。接遇は丁寧にとの思いで、これらの表現をついつい使いがちですが、イエスかノーでかまいません。

また、省略した表現も使わないようにしま しょう。

例: × 切符を買えないことはありません 切符を買えます

口話(読話、読唇)

聴覚障がい者の方の中には、口の動きを 見てある程度読みとることができる人もいま す。この場合、相手に顔を向けて、ゆっくり と口を開いて話して下さい。

日常の接遇では説明資料や設備を指して説明しますが、それでは口の動きが読めませんので注意が必要です。

聴力利用(普通の会話)

高度難聴者の方の中には、聴力が残っていて、普通に話すことができる人もいます。

その他

車内などで補聴器を使用されている方は、 周囲の音が雑音にしか聞こえませんので、 筆談での対応が必要です。

【まとめ】

耳が聞こえない方とのコミュニケーションには色々な方法がありますが、それらひとつだけでは十分に気持ちを伝え合うことができない場合もありますので、それぞれの場面に応じて使い分けたり、併用することも必要です。

また、公共交通機関では放送だけでなく文字による情報提供が必要です。





四国運輸局では、小学校児童を対象に今年度開催した「バリアフリー教室(バスの乗り方教室を含む)」の関係者を対象にアンケートを実施しました。

教室に参加した4校の教諭14名のみなさんからの回答概要は次のとおりです。

「教室全体の構成は適当である」

「教室全体の構成についてどう感じたか?」という問いに対して、「適当である」との回答が11件あり、介助体験を通じて障がい者等の理解を深めることが出来たことや、実際に校内にバスを持ち込むことにより、普段利用することの少ないバスを間近に見ることが出来たことに対する満足度が感じられた。

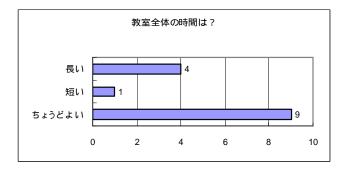
開 バスの乗り方教室 講 車いす利用者介助 式 デモンストレーション	視覚障害者介助体験 ※低床バス車両	視覚障害者介助体験 ※高床バス車両	意見交換会
--	----------------------	----------------------	-------

代表的な教室プログラム

「時間は2時間程度がちょうどよい」



「教室の時間(約2時間)についてどう感じたか?」という問いに対しては、「ちょうどよい」との回答が9件(約64%)と最も多かったが、「長い」(4件)、「短い」(1件)との意見もあった。



「教室は参考になった。ただし、低学年が理解するには難しいのでは・・」

バリアフリー教室、バスの乗り方教室の内容についての質問では、両教室ともに、回答者全員から参考になったとの回答があった。内容については、どちらの教室も9割近くが「子供たちは理解できる」としたものの、複合学年で実施した学校からは「低学年には難しい」との回答も一部あり、複合学年で開催時の分かりやすいメニューの検討が必要。

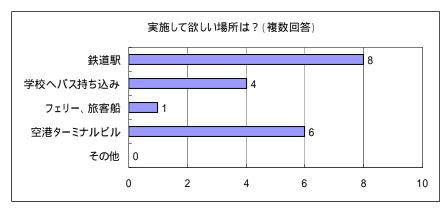




体験として実施して欲しい内容についての質問は「視覚障害者介助体験」、「車いす利用者介助体験」「高齢者疑似体験」がそれぞれ同数(8件)であった。

このほか、車内での声掛けや介助体験以外に、マナーに関する体験を希望する意見が1件寄せられた。

今後は現在のメニューを中心として、受講者の ニーズに合った構成が必要。





開催実施場所(モード)についての質問では「鉄道駅(8件)」、「空港ターミナルビル(6件)」、「学校へのバスの持ち込み(4件)」の順であった。

今後は広く交通モードで展開するため、フェリー、旅客船を モデルとした開催も必要。

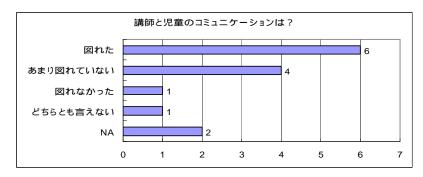
「ちょうどよい時間設定の意見交換会。ただし、講師とのコミュニケーションは不足の面も」

教室講師と参加児童との意見交換会の時間設定(20分~30分)については、「ちょうどよい」との回答が9件と最も多かったが、「短い」との回答も3件寄せられ、うち2件が「40分希望」との回答であった。

意見交換会において、講師と児童とのコミュニケーションが図られたかどうかについては、「図れた(6件)」、「あまり図れていない(4件)」の順で、この他、「図れなかった」、「どちらとも言えない」が各1件ずつであった。この結果は、初対面の講師と児童が短い時間の中でコミュニケーションを図ることの困難性を

示しており、今後は全体の 構成の中でコミュニケー ションが図れる工夫が必 要。





四国運輸局では、今回実施したアンケート結果を、来年度以降のバリアフリー教室実施計画に反映させたいと思います。

人で混雑する羅湖駅

~ 閑話休憩~「世界の鉄道」

九廣鐵路(Kowloon Canton Railway)

香港側では、主に通勤線として利用されてい ますが、シンセン市からは、香港へ買い出しに 行く人が多く、大きな荷物を抱えた人が行き来 しています。ローウー駅では、香港が中国の特 別行政区であるため、入国審査を受けます。香 港側のイミグレーションでは、65歳以上の人 の優先窓口があり、高齢者への配慮がうかがわ

また、コンコースには免税店もあります。 施設のバリアフリー化はとても進んでいて、 ブロックの敷設や段差の解消が行われ、列車内 は、手すりの多用、車両番号、優先席表示、乗 降口の表示などいろんな配慮がされています。



この川が国境

れます。

九廣鐵路(KCRイー ストレール)は、香港九 龍チムトン(尖東)駅か ら中国シンセン市ロー ウー(羅湖)駅までの3 5.5km(約40分)の 路線です。



尖東駅のホームドア





優先者の表示



わかりやすい出入口

深セン地下鉄



2004年12月に開業した新しい路 線です。ホームドア、エレベータ、エス カレーターが設置されるなどのバリアフ リー化が進んでいます。飲食や痰吐き禁 止などの車内表示や乗降表示がマナー アップを目指す姿勢をあらわしていま





地下鉄入り口、左側はシンセン駅







深セン地下鉄の乗車券

直径3cmのICトークン式です。中にICチップが 組み込まれていて、乗車時は自動改札機にタッチ するとゲートが開き、下車時は改札機の投入口に 入れます。カード式のように1度使ったら廃棄する のではなく、何度も再利用できるので経済的で、 最近の新規開業のアジアの地下鉄・都市鉄道を中 心に主流となっています。





券売機と乗車券

バリアフリー教室について

四国運輸局ではバリアフリーについての理解を深めるとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者・障がい等に対し、自然に快くサポートできる「心のバリアフリー」 社会の実現を目指してバリアフリー教室を開催しています。

今後も順次教室を予定していますが、教室開催にご協力いただける事業者、NPOの方からのご連絡をお待ちしています。 また、乗務員教育の一環として開催を希望される事業者の方もご一報ください。



【 訂正とお詫び 】

平成19年12月25日発行「バリアフリーニュース第10号」について、下記のとおり表記に誤りがありましたので、お詫びして訂正させて頂きます。

P6『平成19年度「ことでん」のバリアフリーへの取組み状況』 「2)5千人以上の主要駅施設の取組み」の本文2行目

誤: 瓦町駅の多目的トイレにオストメイトを整備し、多機能トイレへと格上げ・・・ 正: 瓦町駅の多目的トイレをオストメイト対応の多機能トイレへと格上げ・・・

> みなさんからのご意見・ご投稿をお待ちしています。バリア フリーに関するものならなんでも結構です。四国運輸局消 費者行政課まで、FAXまたはメールでお寄せ下さい。



〒760-0064

高松市朝日新町1-30



電話 0 8 7 (8 2 5) 1 1 7 4 F A X 0 8 7 (8 2 2) 3 4 1 2

Email: Shikoku-shohisha@skt.mlit.go.jp

このニュースは交通バリアフリー関係の話題を中心にして、4県自治体のバリアフリー関係担当部署、交通事業者及び地域のNPOの方にお送りしています。

このニュースの配信につきまして、配信先の追加、変 更や停止をご希望される方は、お手数ですが本メール の返信機能でご連絡ください。 四国運輸局ホームページもご覧下さい

http://www.skt.mlit.go.jp/